



揖斐川中だより

令和2年8月17日
揖斐川中学校
第5号

新しいスタイルの学校の歩みの礎づくりに挑戦する2学期がスタート!

校長 折戸 克明

わずか16日間しか確保できなかった今年の夏休みが終わりをつけ、今日から2学期がスタートしました。夏休み期間中、毎日の検温確認等をはじめ、様々な面におきまして、お子様の健康や生活管理にご配慮いただきまして誠にありがとうございました。今日からの2学期の生活の中におきましても、引き続き朝の体調確認や検温等、お世話をいただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ感染症対策のために、1学期の終業式に引き続き、本日の2学期始業式もオンラインシステムを利用してのリモート形式で行いました。なかなか全校が一堂に会することができない今、このようなスタイルがこれからのスタンダードとなっていくのかもしれないなどと考えております。これにも関わることですが、本日の始業式において、私は以下の言葉を全校生徒に式辞として伝えました。



全校生徒の皆さん、こんにちは。8月に入り、例年よりずいぶん遅れた梅雨明けの知らせを聞いたかと思った矢先に記録的短時間大雨情報が県内にも発令されるなど、7月に続き不安定な天候でスタートし、その後には一転しての猛暑到来と、なかなか身体がしっかりとついていけないような夏休みでしたが、昨日で16日間の夏休みが終わりました。7月からの豪雨の影響を受け、今なお、自宅や学校での普段通りの生活ができず、不自由を強いられているような方々が、国内にはたくさんみえる状況の中、私たち住む揖斐川町では、幸いにも大きな被害もなく、また心配されたコロナの感染拡大も見られることなく、こうして今日、全校で無事に2学期の始業式を迎えられることを、互いに心から喜びたいと思います。

わずか2週間余りの夏休み期間でしたが、私は、懸命に頑張る揖斐川中生の皆さんの姿から多くの感動を味わわせてもらいました。中体連大会の全面中止を受けて、各競技ごとに行える範囲での交流試合が、郡内や地区内で開催され、各部のみなさんが3年生を中心に、これまでの集大成の姿を披露すべく、意気込んで参加しました。野球部のみなさんは、郡内で行われた予選を突破し、県大会にコマを進めました。練習不足から、これまでにはあまり見られなかったようなミスも出てしまう状況でしたが、見事に県大会出場権を勝ち取ったメンバーのことを、私は誇りに感じました。バスケット部は郡内の3チームずつで行った交流戦で、男女ともに全勝で1位を獲得しました。男女ともに相手チームよりも人数的に少ない中で、ときには足をつらせたりしながらも、懸命に最後まで戦い抜こうとする姿を観ていて、私の眼がしらはつい熱くなってしまいました。西濃地区内で行われたソフトボールの交流大会では、揖東中学校との合同チームで臨んだ本校ソフト部は、見事に全勝を収めました。その中で、宿敵池田中戦の最終局面で、本校の小寺さんが左中間を割るヒットを打った瞬間に、そのプレーが終わる前からベンチで涙を流しながら喜んでいた水野さんたちの姿を見て、私の目にも涙が溢れました。ソフト部は、続いて行われた県の交流大会でも中学校の部1位を勝ち取りました。その他にも、郡のテニス交流試合個人戦で決勝まで進んだ女子ペアや、惜しくも予選グループで敗退しながらも、実に堂々とした態度で次の試合の審判を務めていた男子ペア、西濃地区交流大会での団体戦予選リーグ突破まであと一歩というところまで健闘した男子卓球部のメンバーたち、などなど、すべてが、これまでの歩みに対する感謝の思いを、今の精一杯の姿で表現しようとしている輝きに満ちたものとして私の眼には映りました。8月9日に学校体育館で行われた吹奏楽部の定期演奏会。昨年までは地域交流センターはなもものホールで、多くの観客に見守られながら行ってきた華やかな舞台でしたが、今年は、とても大きなホールに大勢の方々を招待して行うわけにもいかず、しかも器楽練習がほとんどできていない1年生の力を借りることもできないという、3年生のフィナーレを飾るには決して満足のいく環境ではなかった

演奏会でしたが、そんな中でも、2年生と一緒に懸命に今できる最高の演奏を、各家庭1名ずつ限定というわずかな人数の観客に対して懸命に行う28名の姿からは、ある意味、昨年の演奏会以上の感動を味わわせてもらうことができた私でした。

コロナ禍の中でも、きっとできることがある、そしてその中でも十分に大きな感動を味わうことができる、そんな今後の私たちの歩みに対するヒントと共に、励ましのエールを皆さんからもらうことができた価値ある夏休みであったと私は感じています。

今日から約90日間の授業日が予定されている2学期に入ります。とても長い、これまでに経験したことのない長さの2学期が始まります。この間には、3年生の皆さんには、卒業までに学ぶべきことを学び終えなければならないという大きな課題がありますので、授業数を確保するために、ときに7時間目の授業を実施することも私たちは考えています。また、今後のコロナ感染拡大の状況によっては、1・2年生の皆さんにも同じように追加授業を行わなければならないような状況が生じるかもしれません。2学期は、コロナ感染症対策に万全を期し、皆さんの命や健康を最優先に考えながら、その中でも皆さんが行うべきことを確実に実行できる状況を創り上げていく、それが私たち学校職員に課せられた大きな課題です。

さらに…。私は、1学期の終業式の式辞の中で、「やってためになった」と言える校外学習や体育大会等の足跡を残すことができる、そんなみなさんの頑張りに、今から期待しています、と述べたことを覚えていますか？ 確実な授業実施と同時に、この2学期には、コロナ禍以前に当たり前のように行ってきたいろいろな学校行事を根本的に見直し、中学生の皆さんにとって、真に価値のある行事の在り方を、学校全体で追求していかなければならない、つまりは、WITHコロナの時代の中での学校の歩みの在り方の新しいスタイルを確立するための礎を生徒の皆さんと先生たちとで一緒になって固めていかなければならないという課題が課せられることになるのです。ここで大切なことは、1学期にも皆さんと確認し合った「すべてを自分ごととして捉え、主体的に考え続けること」であることは言うまでもありません。いろいろと皆さんの考えを聞いたり、皆さんに動いてもらいながら検証したりすることがあるかと思いますが、「自分たちの豊かな生活を、自分たちの手で創り上げるために、常に自らに問いながら、自らを磨き続ける」という、1学期のスタートで確認し合ったことを今一度思い返しながらか、濃密な価値ある約90日間の2学期を全校で創り上げることができるよう、一緒に頑張っていきましょう。先程も述べたように、今私が願ったようなことも「きっとできる」という大きな期待を抱かせてくれた皆さんの力を、私は信じています。（※後略）

先ほども紹介したリモート形式の始業式のように、新しいスタイルの学校生活の在り方を模索しながら創り上げていくことがこれからの大きな課題となることは間違いありません。保護者の皆様方にも、いろいろとご助言をお願いしたりすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【この夏に実施された各種交流大会等の成績】

- 【野球】・中部日本選抜大会兼岐阜県中学選抜大会揖斐郡予選大会：2位
 - ・岐阜県中学選抜軟式野球大会：1回戦敗退
 - ・揖斐郡中学校交流大会：3位
- 【卓球】・西濃地区3年生大会：男子団体予選リーグ2位（1勝1敗）
 - ・西濃1・2年生大会：ベスト8→小森信志、荒井彩寧
 - ベスト16→滝瀬朱唯、加藤怜菜
- 【バレー】・揖斐郡3年生引退交流戦：4位
- 【バスケット】・揖斐郡交流大会：男子1位（2勝0敗）、女子1位（2勝0敗）
 - ・西濃スクール大会(THE LAST DANCE)：男子2勝0敗、女子1勝2敗
- 【テニス】・揖斐郡3年生交流大会（個人戦）
 - 男子（岩田光起・宗宮陽亮組）予選リーグ2位（1勝1敗）
 - 女子（太宰智海・長柄菜鈴組）予選リーグ1位 → 決勝トーナメント2位
- 【ソフトボール】・西濃地区交流戦：1位（4勝0敗）
 - ・岐阜県中学生交流戦：予選リーグ2勝→決勝トーナメント中学校1位
- 【陸上】・岐阜陸協強化普及記録会：佐々木亮輔君と西脇優輝君が進んで出場しました
- 【剣道】・揖斐郡中学校練成会：2名出場予定もコロナ感染拡大防止のため急遽中止に

※各部保護者会の皆様には、新型コロナウイルス感染対策をはじめ、会場管理や選手輸送等、いろいろとご協力をいただき、誠にありがとうございました。